

秋子育て通信

第52号 H24. 9. 12
 華業学園短期大学
 保育専攻科

9月に入りました。日差しはまだまだ弱まりませんが、朝夕の気温はだいぶやわらいできましたね。

夏の思い出は沢山できたでしょうか。昨年までよりお子さんと楽しめることが増えたというお母さんも多いと思います。お子さんの成長は本当に目まぐるしいですね。ぜひ先月作ったフォトフレームに、お気に入りの写真を納めてみて下さい。今年の夏は気候が変わりやすく、突然の雨に遭うこともしばしばあったのではないのでしょうか。そんな不安定な気候にも負けないお子さんの元気一杯な姿には、太陽と同じような眩しさを感じます。

9月の後半からは徐々に秋が深まっていくかと思えます。秋といえば何が思い付くでしょうか？

食欲の秋、スポーツの秋、芸術の秋、読書の秋...
 沢山のことが集りの秋を迎えます。今回はその中から読書の秋を取り上げ、図書館探検を企画しました。また、この通信では一つ、詩をご紹介します。暑さにやられて夏バテ気味の心とからだを、ホッと休ませる今号を、お楽しみ下さい。



小さな子どもと一緒に作ることの出来るおやつを紹介します。

アプリコットボール

材料

バター 100g
 グラニュー糖 30g
 卵 50g
 小麦粉 150g
 ベーキングパウダー 小さじ1/2

小麦粉
 グラニュー糖
 アプリコットジャム

冷凍保存可能!!
 適量

作り方

- ① ボールに室温に置き柔らかくしたバターを入れ練る
- ② グラニュー糖を2〜3回に分けて加えよく混ぜ、卵は溶き卵にし、2回に分けて加えよく混ぜる。
- ③ 小麦粉とベーキングパウダーをふるい②に加え、切るように混ぜ合わせる。
- ④ ③をまとめてラップで包み冷蔵庫で20分休ませる。
- ⑤ 手に粉を少量つけ手のひらに生地をとりまとめる。
- ⑥ ⑤にグラニュー糖をまぶし天板に並べ、はしの先でくぼみをつける。くぼみの中にアプリコットジャムを入れ170〜180℃のオーブンで10〜15分焼く。

♡出来上がり♡

スイカとトマトのピンクスムージー

材料

スイカ1/8カットの芯を1/3
 トマト小1/3
 豆乳or牛乳 100ml

作り方

- ① 材料を小さく切りミキサーへ入れる。

♡出来上がり♡



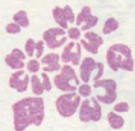
スイカとトマトの赤色はリコピンの印です。日焼けから体を守ってくれます。豊富な水分が体の熱を調節してくるので夏にぴったりです。

お母さんの声

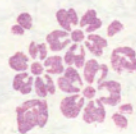


前回は夏の思い出を飾るためのフォトフレーム作りをしました。色々なペンやデコ用の穴あけパンチなどを使ってオリジナルのスタンドタイプやヒモ掛けにしたりと工夫していました。

前回の子育て広場に参加したお母さん方の感想を紹介させて頂きます。



今日は普段ではやらない工作ができて夢中になってしまいました。子供も新しく遊んでいく木ので楽しく過ごすことができた。
フォトスタンドが出来たので、どこかに出掛けて写真を飾りたいと思います。
ありがとうございます。



制作してよかったです。
家に多い材料をアクリル板が広がりました。
娘さんの上の子も一緒にできて、夏休みの楽しい思い出を作りたいと思います。
子供がたたくことで、いつも母からはおもしろくないところの子もたたくことができた。
写真には和紙を後でいいたいでいいです。
感謝です。ありがとうございます。



4才のお兄ちゃんを今日連れてきたが一緒に工作づくりを楽しく楽しんでくれたのでよかった。
夏休みの家族でいろいろお出かけに行き兼ねる思い出Fontをかざりたいと思います。



家ではなかなかできない事ができてとても楽しかったです。
子供がもううれしくなったら一緒に楽しめる様になるといいな。

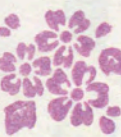


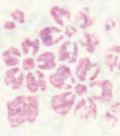
工作はとっても好きなのでへたなりに楽しく出来ました。
娘に喜んでもらえるのが嬉しいです。

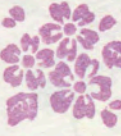


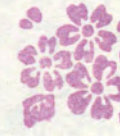
たくさん材料を用意していただいたのでこの作品でも作る工作で楽しかったです。
普段はなかなか工作をしないのでイメージするのが難しかったですが、楽しかったです。ありがとうございます。





 もっとと工作は好きなのを集中して
 作ることでできてとても楽しかったです。
 おもちゃのうたをいっていろいろと
 が思い浮かんで、夢中になり、あっという間に
 時間が過ぎていきました。
 また大勢で作ると周りのあの個性や感性、
 人柄が見えてくるように思いました。


 家では、工作なんかやる事がなかったの
 ですごく楽しかった。
 紙にデコをするのもいいなー
 と思いました。
 夏の思い出をかざりたいと思います。


 子どもがいるとなかなか糸組がいて
 ができなけれど、今日はいろんな物
 使った工作が楽しかったです。
 また今度、幼稚園の子供たちと
 作ってみたいです。


 今日は外フレーム作りと楽しかったです。
 いつもこんな物作りが苦手な私に作る
 機会がなかったですが、実際に作ると
 楽しいと、素直な時間が過ごせました。
 今日は上の子も一緒に来たので、上の子も
 一緒に外フレームが作って楽しんでいたので
 とても良かったです。
 毎月この遊びの広場は楽しみにしています。


 夏休みは毎日バタバタでゆっくり作れる
 時間もないので、作ることでできて良かったです。
 上の子が楽しんでくれたので良かったです。
 子ども2人行作したので夏休みの思い出を
 かざりたいと思います。



感想 ありがとうございます。
 今はお金をだして買ってしまうことも多い時代だと思います。
 そこで子どもたちのため家族の思い出を飾るために外フレームを
 作りました。お母さんたちみなさん熱中していたようで
 とてもいさいさしている子も見えました。
 もし、時間の空く時があれたららちにか作ってみるのもいい
 かなと思います。次の子育て広場、楽しくなる子にお祈りしています。



次回は1/2です



毎日子育てや家事を頑張っているお母さん方に紹介したい詩です。

『今日』

今日、わたしはお皿を洗わなかった
ベッドはぐちゃぐちゃ
浸けといたおむつは だんだんくさくなってきた
きのうこぼした食べかすが 床の上からわたしを見てる
窓ガラスは 汚れすぎて アートみたい
雨が降るまでこのままだと思う



人に見られたら
なんて言われるか
ひどいねえとか、だらしないねえとか
今日一日、何をしていたの?とか

わたしは、この子が眠るまで、おっぱいをやっていた
わたしは、この子が泣きやむまで、ずっとだ、こしていた
わたしは、この子とかくれんぼした。
わたしは、この子のためにおもちゃを鳴らした、それはきゅうと鳴った
わたしは、ぶらんこをゆすり、歌をうたった
わたしは、この子に、していいこととわるいことを、教えた

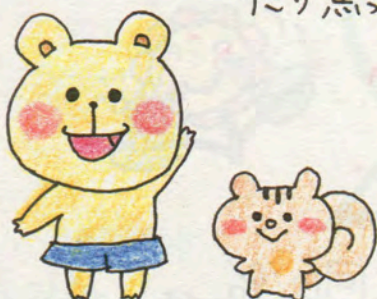
ほんとうにいったい一日何をしていたのかな
たいしたことはしなかったね、たぶん、それはほん
でもこう考えれば いいんじゃない?



今日一日、わたしは
澄んだ目をした、髪ふわふわな、この子のために
すごく大切なことをしたんだ、て。

そしてもし、そっちのほうがほんとなら、
わたしはちゃんとや、たわけた。

この詩は、ニュージーランドのお母さんが読み、伊藤比呂美さんが和訳したものです。私たちは、小児保健という講義で先生から教えて頂きました。私はこの詩を読むたびに涙が出てきてしまいます。子育てや家事をしているとあつという間に時間が過ぎてしまいます。子育ては成果がすぐに現れるものでもないし、他人からの目が気になり、悩んだり焦ったりしがちです。しかし、お母さんとお子さんなりのペースで、一緒に時間を過ごす中で涙山怒ったり、泣いたり笑ったりすることが一番大切なことだと思います。すべて完璧にすることは中々できません。これは全世界のお母さんに共通しているようです。私たちも保育を楽しみながら生きていきたいです。



図書館探険に行こう!



読み聞かせの役割とは?

子どもはそれぞれの発達段階において、無意識に感じている「安全領域」のようなエリアがあります。「ここまでならひとりで踏み込んで大丈夫だけど、ここから先はちょっと怖い…」というラインは、大人になっても感じたことがあると思います。子どもはそれを上手くことばに出来ず、余計にモヤモヤとした気持ちでいるのではないのでしょうか。「どうやらおもしろい世界がありそうだな!」と思っても、なかなか一歩が踏み出せない…そんな時に、大人の役割があるのです。「絵本」という媒体を使って、子どもにまだ知らない世界を伝えてあげられます。子どもからしてみれば、「読み聞かせ」をしてくれる読み手はつまり、冒険へ一緒に旅立ってくれるパートナーといえるのです。外の世界へ連れ出してくれる、一緒に冒険を楽しんでくれる、そんな安心出来る存在を子どもは求めているのだと思います。ですから、上手く読むことに集中するよりも、一緒になって絵本のおもしろさを分かち合えたら、それがきっと何よりも素晴らしいことなのだと思います。それでは図書館探険へ出発しましょう!

絵本選びのポイント



0~1才

赤ちゃんは絵本が大好きです!言葉はまだ身につけていなくても、目や耳でいっぱい楽しめます。心地良いリズムや言葉、はっきりとした色、わかりやすい形が描かれたシンプルなものがオススメです。

2~3才

お話が出来るようになってくると、絵本を見ながら、会話や発見がいっぱい出来るものがオススメです。イメージがわかりやすいので、絵本を通じて生活習慣を学ぶのもいいですね!

4~5才

絵本の中の主人公の気持ちになって一緒に楽しんだり、ドキドキしたり、悲しんだり…とても大切な経験が出来る時です。世界観がぐっと広がるようなストーリーや感動するようなものがオススメです。

※ おおむねの目安です。子どもの様子を見て一緒に選んでみて下さいね♪